

「自由」それははじめからあったものではなかったのです。

『印刷職人はなぜ訴えられたのか』

ゲイル・ジャロー／著 幸田 敦子／訳 あすなろ書房 2011年 1300円

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★☆☆ 中学生★★★
高校★★★ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

アメリカといえば「自由の国」という印象がある人も多いのではないのでしょうか？でもこの「自由」ははじめからあったわけではありません。もともと植民地だったアメリカが自由を手にするきっかけとなったとも言える事件「印刷職人ピーター・ゼンガーの裁判」で何があったのかを、当時（300年近く前！）の資料をもとにあきらかにしたのがこの本です。

史実は未来を創る知恵をさずけてくれます。ぜひ自分で史実に触れてみてください。

<子どもに手渡す時のポイント>

物語が好きな子どもばかりではないというのは子どもに本を手渡す役目にある大人はよく知っていることかと思いますが、さて、物語以外の本というとあまり思い浮かばない方も多いのではないのでしょうか？この本はそんな物語以外の本のうちの1冊です。作り物の話より本当の話に興味がある子にぜひ手渡してください。また「言論の自由」や「生き方」について子どもたちが考える時にもぜひ手渡してほしい1冊です。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村